

2年1組 生活科学習指導案

「会見大すき！行ってみよう，まちたんけん！ ～会見のまちをもっと知ろう～」

日 時 平成29年6月30日（金）5校時
場 所 2年1組教室

1. 単元について

(1) 単元の価値

本単元は、学習指導要領解説の内容(3)「自分たちの生活は地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所とかかわっていることが分かり、それらに親しみや愛着をもち、人々と適切に接することや安全に生活することができるようにする。」と(8)自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を行い、身近な人々とかかわることの楽しさが分かり、進んで交流できるようにする。」に基づいて単元を構成する。具体的な視点としては、「イ 身近な人々との接し方」「ウ 地域への愛着」「カ 情報と交流」を位置付けている。

自分たちで計画を立てて、身近な地域に出かけていき、さまざまな場所を調べたり、地域の場所や人とのかかわりを広げたりする活動を通して、地域に親しみをもち、人々と適切に接したり、安全に気を付けて生活したりすることができるようになることを期待している。

学習指導要領では、「身近な人々、社会及び自然と直接かかわり合う活動によって、自分を見つめ、自分のよさや可能性に気づき、自分の成長についての一人一人の認識を深めること」がさらに重視されている。子どもたちは、本単元の活動を通して、身近な地域を探検し、さまざまな場所や店、施設等を発見したり、そこに暮らす人や働く人に会ったりしながら、地域への関心や愛着を深めていくと考えられるが、その過程において、身近な人と自分とのかかわりや新たな発見、地域と自分とのかかわりについて気付かせる指導に努める。

(2) 子どもの実態

本校区は山々に囲まれ、田畑が広がり、自然豊かな地域である。子ども達は毎日徒歩通学をしており、四季の変化を感じながら学校生活を送っている。また町の中心部には役場や図書館、郵便局などの公共施設や昔ながらの個人商店などがあり、自然の豊かさと行政サービスの充実から新興住宅も増えている。

児童に町のお気に入りの場所やとっておきの場所を聞いてみたところ、自分の住んでいるところの自然の豊かさについて発表する児童が多かったが、何人かの児童が赤猪岩神社を挙げた。会見が「再活の町」と言われるゆえんとなった神話の伝わる神社である。神話や祭られている岩についてもっと知りたいという児童の思いにより、赤猪岩神社に探検に出かけた。神社では、宮司さんのお話を聞くことができ、昔から受け継がれる会見の人々の思いにふれることができた。見たり聞いたりしたことを書きとめたり、不思議に思ったことは質問したりと意欲的に活動に取り組む姿が見られた。

1回目の天萬探検では、さまざまなお店や施設を見つけて戻ってきた。天萬地区から通ってくる児童も多いが、他の地区に比べて、お店や施設が多く集まっていることに気付いている児童はほとんどいない。そこで、2回目の天萬探検のまとめでは絵地図を使い、建物の多さや人の集まる場所であることに気付かせたい。また、施設を訪れたことがあると発言する児童もいたが、施設と自分たちの生活のつながりを意識している児童は少ない。インタビューしてわかったことや気付いたことをもとに、天萬地区と自分たちの生活のつながりにも気付かせたい。

本児童は1年生の生活科の学習の中で、繰り返し人にかかわる活動をしてきたことで、相手意識が少しずつ育ってきている。活動や課題に対しては、「こんな風になりたい。」という自分なりの考えをもっている児童が多

いが、目的意識をもってわかりやすく伝えたり、相手の考えを受け入れて新たな考えをつくりだしたりすることに課題が見られる。発表を聞いたり、友だちと話し合ったりする中で、友だちの考えと比べることで共通点や相違点に気づき、その面白さや友だちのよさ、自分のよさにも気付かせ、相手の考えを尊重する態度を身に付けさせたい。また会見のまちのよさに気づき、会見のまちを好きと言える子ども育成にもつなげていきたい。

(3) 指導にあたって

単元のはじめには、まず児童に自分のお気に入りの場所や興味のある場所、知っている場所、不思議に思っている場所などを紹介し合わせ、身近な地域に関心をもつことができるようにする。また会見地域にある古事記ゆかりの神社へ出かけ、神社を探検したり宮司さんにお話を聞いたりすることで、会見の町への関心をさらに深め、探検への意欲付けを図る。次に町の中心機能をもつ天萬地区へと探検に出かける。もっと知りたい場所や会いたい人を決め、友だちと協力して地域のことを調べていく。この時に、地域に住む人や地域で働く人とのかかわり合いを大切にしたい。インタビュー形式で学習を進めることで、相手意識をもって活動できると考える。それぞれのグループが調べてきたことを発表し、絵地図にまとめることで、天萬地区の施設やお店が多いといった特徴や人とのかかわり、新たな発見、自分たちの生活とのつながりに気付かせたい。お店や施設の人に直接インタビューすることで親しみを感じたり、オリジナルの絵地図を作ってわかったことをまとめたりすることで自分たちの暮らすまちのよさや人とのかかわりについても考えさせたい。自分の分かったことを発表する際は、相手を意識した、わかりやすいものになるよう指導する。また友だちの発表を聞きながら、調べてきた場所や人のこと、自分たちのグループが調べたことを比べたり、合わせて考えたりし、考えを認めたり、広げたり、深めたりすることができるよう支援することで、対話的な学びを充実させたい。そのために、「対話的な学びを充実させるための10のポイント」より「⑤整理・分析したものやまとめたものを活用し、自分の体験をもとにしながら発表させる」「⑨子どもたちの発言から分類・比較・焦点化などの構造的板書の工夫により子どもたちが全体で話し合うための手立てをする」の2点を重点として取り組む。

また、地域で出会った人に対しては、単に「郵便屋さん」ではなく「郵便局の〇〇さん」のように顔と名前を覚え、具体的に誰とどのように出会ったのかが分かるようにすることで、相手意識をもったり、地域と人を結びつけ、親しみや愛着をもたせたりしたい。これらの活動を通して、身近な地域に目を向けさせ、地域の方とのかかわり、地域の特徴の発見、自分たちの生活とのつながりに気づき、他の地区、会見の町へ関心を広げていきたい。

2. 単元目標

- 自分たちの町がどんな町か知るために探検に出かけ、会見の町に関心をもつことができる。(学)
- 探検で見つけたことを友達と語り合い、会見の町の公共施設や店、人に関心を深め、会見の町のとっておきの場所を地図にまとめることができる。(思・判・表)
- 地域や人とのかかわりを広げ、親しみをもち、人々と適切に接しながら安全に気を付けて生活することができる。(知・技)

3. 単元の評価規準

①学びに向かう力	②思考力・判断力・表現力等の基礎	③知識及び技能の基礎
<p>(ア) 地域の人々や場所などに関心をもち、進んでかかわろうとしている。</p> <p>(イ) 相手や目的に応じて、伝えたいことを表現しようとしている。</p>	<p>(ア) 行きたい場所や会ってみたい人をきめ、相手や場に応じた適切な行動や安全な行動について考えながら、活動計画を立てている。</p> <p>(イ) ルールやマナーを守り、安全に気を付けて、見たり調べたりしようとしている。</p> <p>(ウ) 会見の町がどんな町か考えたことを絵地図に表現し、友だちと伝え合っている。</p>	<p>(ア) 地域には様々な場所があり、多様な人々が生活したり働いたりしていることに気付いている。</p> <p>(イ) 地域の方が自分たちの生活を支えていることや、みんなと協力して楽しく豊かにしていることに気付いている。</p>

4. 単元構成（全14時間）

○学習活動	子どもの問い・思考	評価規準
会見のまちのお気に入り・とっておきのばしょを見つけよう		
<p>1. 「自分のお気に入りの場所はどこかな」</p> <p>○学校の周りや自分の暮らす地域で、気に入っている場所・好きな場所を紹介し合う。</p> <p>2. 「学校の周りをたんけんしよう」</p> <p>○宮前探検に出かけ、学校の周りの様子を知り、田んぼや畑がたくさんあったり、野菜名人が住んでおられたりすることに気付く。</p>	<p>・家の近くの公園がお気に入りだよ。いつも友だちと遊んでいるよ。</p> <p>・おじいちゃんと一緒に行くお店のおばさんがいつも話しかけてくれて、なかよしなんだ。</p> <p>・神社があるよ。地域の人と掃除をするよ。</p> <p>・永江さんの畑だ！まめやトウモロコシが植えてあるんだね。</p> <p>・板持さんの畑もあったよ。野菜のことを何でも知っていてすごいな。</p>	<p>①イ</p> <p>①ア</p>
天まん地くを たんけんしよう		
<p>3・4. 「赤猪神社・天萬探検に行こう」</p> <p>○会見地域に語り継がれる伝説のある神社に探検に出かけ、宮司さんに話を聞く。</p> <p>天萬地区を探検し、どんなお店や建物があるか調べる。</p> <p>5・6. 「探検コースをきめよう」</p> <p>○前時に見つけたお店や施設の中からもっと詳しく調べたい場所を選び、探検コースをきめる。</p> <p>○詳しく知りたいことを整理し、インタビューメモを作る。</p>	<p>・赤猪岩神社の伝説の本を読んだことがあるよ。</p> <p>・会見の人たちが昔から大切にしてきた神社なんだね。</p> <p>・郵便局や看板屋さんを見つけたよ。</p> <p>・‘みき’って何をするとところかな。</p> <p>・看板ってどんなものを作っておられるのか見てみたいな。</p> <p>・天萬図書館には何冊くらい本があるのか聞いてみたいな。</p> <p>・ぼくのうちにも手紙を届けてくれているのかな。</p> <p>・あのガソリンスタンドにはお母さんと一緒に行ったことがあるよ。どんな人が来るのか聞いてみたいな。</p>	<p>③イ</p> <p>①ア</p> <p>②ア</p>
<p>赤 南部中学校, 天萬図書館</p> <p>青 みき美容室, 郵便局</p> <p>黄 千鶴みかも, JR西日本米子メンテック</p> <p>緑 ローソン, ガソリンスタンド</p> <p>7・8. 「天萬地区をもう一度探検しよう」</p> <p>○詳しく調べたい場所へグループごとに出かけ、お店や施設の方にインタビューをする。</p>	<p>・お仕事をされていて、どんなときにうれしい気持ちになりますか。</p> <p>・なぜここに郵便局を建てたのですか。</p> <p>・作った看板はどこにあるのですか。</p>	<p>②イ</p>

天まんたんけんて 見つけた おたからを つたえよう		
<p>9・10・11. 「インタビューしてわかったことを整理してまとめよう」</p> <p>○仕事の内容やインタビューに答えてくださった人の思いなど、わかったことをグループで話し合い、まとめる。</p> <p>○発表の練習、準備をする。</p> <p>12・13・14. 〈本時〉</p> <p>「わかったことを学級の友だちに伝えよう。」</p> <p>○それぞれのグループが探検に行つてわかったことを発表し、天萬のお宝について話し合う。</p>	<p>・美容師さんの名前は恩田さんだったね。</p> <p>・郵便局の前の通りは昔から人がたくさん通る道だったんだね。</p> <p>・お客さんが喜んでくれるとうれしくなるとおっしゃっていたよ。</p> <p>・どんな順番で話すと、みんなにわかりやすいかな。</p> <p>・紙芝居で紹介したらどうかな。</p> <p>・‘みき’は美容室で、髪を切ったり、染めたり、パーマをかけたりするところです。</p> <p>・天萬にはたくさんお宝があるとわかりました。</p> <p>・すてきな人がたくさんおられます。</p>	<p>③ア</p> <p>③ア</p>
まとめ		
<p>15. 「見つけてきた天萬のお宝を地図にまとめよう。」</p> <p>○各グループの見つけてきたこと、わかったことを地図にまとめる。</p>	<p>・調べてわかったことをマップにまとめよう。</p> <p>・ぼくたちだけのオリジナル天萬マップにしよう。</p> <p>・天萬でとっておきの場所が見つけれられたかな。</p> <p>・めあてをもって活動することができたかな。</p>	<p>②ウ</p> <p>③イ</p>

5. 本時の学習

(1) 本時の目標

天萬探検でわかったことを伝え合い、絵地図にまとめることで、町の中心である天萬地区の様子に気付き、自分たちの生活と人とのかかわりを考えたり新たな発見をしたりすることができる。

(2) 準備物

- ・ 学び時計
- ・ 絵地図
- ・ 発見マーク, お宝マーク
- ・ 前時までに発表したグループのまとめ
- ・ これまでの学習の足跡
- ・ 振り返りシート

6. 本時について (14 / 15 時間)

目指す姿

自分たちの生活と人とのかかわりを考えたい新たな発見をしたいすることができる。

【主な学習活動・内容】

【課題】 天まん地くのおたからを見つけよう。

- ・めあて (五分)
- ・あいさつ

- ・天萬探検で見つけた宝を発表し合う。(二十五分)

○JR西日本米子メンテック、天萬図書館グループが発表する。(25分)

【米子メンテック】*絵
看板屋さんです。安井さんに話を聞きました。小学校の前の看板も作ってくださったそうです。自分たちの作った看板を見て、お客さんが喜んでくれたり、みんなの役に立っていると思ったりするとうれしい気持ちになるそうです。

【天萬図書館】*ペープサート、クイズ
〇冊の本があるそうです。小学校の図書館よりもたくさん本があることが分かりました。私も行ったことがあります。お母さんやおじいさんも借りに来ます。高橋さんは、たくさんの方が本を借りてくれるとうれしいそうです。

○発表を聞いて、質問したり、わかったことを伝えたりする。

私たちのために看板を作ってくださっていたことに驚きました。うれしいです。会見にはここで作られた看板がたくさんあることが分かりました。他にどんな看板があるのか探してみたいです。

会見の人がたくさん行く場所だとわかりました。私もよく行きます。高橋さんがおすすめの本を選んでくださっているとわかりました。私も聞いてみようと思いました。

- ・八つの発表を振り返り、「天まん地くのお宝」について話し合う。(十五分)

○8つの発表から「天まん地くのお宝」について話し合う。「8つの発表を聞いて、初めて知ったことや、すごいなと思ったこととお宝になることを見つけましょう。」

- ・天萬にはいろいろなお店や建物があるとわかりました。
- ・出会った人はみんなにこにこしていました。
- ・僕も歩いて自分で行けるところにお店があるなと思いました。
- ・中学校ではあいさつを大切にしている、小学校と同じなんだということがわかりました。
- ・私のおばあちゃんは、みき美容室の恩田さんに髪を切ってもらっています。恩田さんはやさしくインタビューに答えてくださいました。
- ・お店の人は、お客さんに喜んでもらえることがうれしいのだなと思いました。
- ・千鶴みかもには体操服以外の服も売っているとわかったので、おばあちゃん行ってみたいです。
- ・天萬にはお宝がたくさんあってすごいなと思いました。
- ・他の地区にも行ってみたいです。

- ・まとめ・振り返る。

留意点

○観点を2つ挙げ、考えるポイントを明確にしておく。
・場所 (お仕事) ・人とのかかわり

支援

○天萬地区の地図を背面に掲示し、店や施設の場所が分かるようにすることで探検時のことを思い出したり、建物の集中している様子をわかりやすくしたりする。

板書計画

④ 天まん地くのおたからを見つけよう。

よなごメンテック

天まん図書館

おたから!

へえ! びっくり! すごいね!

ふしぎだな

ぼくたちのまちのかんばんを作ってください。

やすいさん、本田さん、池田さん

まちのみんなのために本をせいりしてわかりやすくしてください。

さいがさん、たかはしさん

留意点

○単に図書館の人、看板屋さんの人ではなく、「そこでこんな仕事しておられる〇〇さん」という相手意識をもたせ、より関心と愛着の深まる発表になるようにする。

支援

○インタビューに答えてくださった方の顔写真を掲示し、〇〇さんの顔がわかるようにする。
○何がお宝なのか考えながら聴くようにさせ、仕事や人に注目させる。

○天萬の絵地図を教室側面に掲示し、これまでの探検を思い出せるようにしておく。

留意点

○発表を通してまとめた地図や観点をみて、町の宝とは何か、場所・人・役割・自分や家族との関わりなどに視点を持たせながら考えさせる。

支援

○本時まで発表したグループ内容も思い出させ、1つのお店・施設から天萬地区全体へと視点を向けさせる。
○見つけた場所や人との出会いを想起させる。

○話し合いに参加しにくい児童には、初めて知ったことや、これまで発見したお宝は何だったかと問いかけ、自分のわかったことを言えるようにする。(支援者)

評価

○地域には様々な場所があり、多様な人々が生活したり働いたりしていることに気付いている。③ア

【発言・ふり返しシート】

【指導上の留意点・支援・評価】